

GM

Governors' Monthly Letter

ガバナー月信
会長・幹事殿

Rotary
District 2710

2025-26 ROTARY
INTERNATIONAL
District 2710

Vol. **04**
2025.10

地区大会

会長・幹事の皆さま、そして会員の皆さま、こんにちは。

今月の18日、19日には、地区大会が開催されます。

西条RC・東広島RC・東広島21RCが一丸となって皆様をお迎えいたします。

多くのロータリアン、ロータリーファミリーのお越しを待っております。

さて、2025年の規定審議会において、

「地区大会を毎年開催する要件を削除する」

という案が可決(252対216)しました。

地区の裁量によって地区大会を行わない、

ということが可能になりました。

私は、毎年地区大会に参加することにしております。

なぜなら、多くのロータリアンと会えるからです。

自クラブ以外のロータリアンを知り、

そして、自クラブのロータリアンがますます好きになります。

Enjoy Rotary

皆さんロータリーを楽しみましょう。



Contents

「職業奉仕」は難しい?	02	我がクラブの会長さん	08
米山月間によせて	03	メーキャップのすすめ	14
当地区の米山記念奨学事業について	04	新会員紹介	15
第49回インターアクト地区大会(8/2)報告	06	会員の増減・出席率/地区大会	16

《今月の特別月間》

地域社会の
経済発展月間
米山月間





「職業奉仕」は難しい？

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 ガバナー
土肥 慎二郎

先日、田中毅パストガバナー(RID2680 地区、尼崎西RC)が93歳でご逝去されました。

田中先生は、ロータリーに奉仕理念を提唱したアーサー F. シェルドンの研究をなさっておられました。久々に先生の論文を読み返してみました。

「あなたは何のために仕事をしていますか？」という問いに対して、多くの人は「お金を儲けるために…」と答えるでしょう。ただ、これと同じ質問をお医者さんや弁護士の方にしたらどうでしょうか？たとえ内心そう思っていたとしても、はっきりとそうは言えない、その立場にあるのが専門職の人たちです。元来専門職の人たちは、自分の技術を社会に提供する、すなわち社会に奉仕することによって生計を立てています。そして技術の提供を受けた人が感謝の念をもって報酬を払うとしても、自分の方から対価を要求することは出来ません。この専門職種の人と同じ職業観を、ビジネス界の人たちに持ってもらう、というのがシェルドンのいう職業奉仕です。

もうひとつ例を挙げます。

もしこの会場に世界中の靴職人と靴製造の技術を持っている人、その商売をしている人が集まったと仮定します。そこに大きな地震が起こってすべてが無くなってしまったらどうなるのでしょうか？

世界中の人が困りますよね。その状況になって初めて、靴屋さんという職業は儲けるためだけにあるのではなくて、靴という品物を提供して社会に奉仕するためにある、ということが解るのです。

職業奉仕とは、リピーターを得るための科学的かつ道徳的な経営方法です。

それは「自分がしてもらいたいと思うことを人にもしてあげなさい」という黄金律の考え方です。

そしてそれに則って仕事を営めば、継続的に利益を得ることにつながる、これをHe profits most who serves bestという言葉で表しています。

職業奉仕の考えでは、受益者はロータリアンなのです。

最近の国際ロータリーでは、高い道德基準を守ることが、職業奉仕の実践であるかのように説いていますが、逆で、職業奉仕を実践しているから、結果として高い道德基準に達することができるのです。

やはり「職業奉仕」は難しいのかもしれませんが。

田中先生のご冥福をお祈りいたします。

(「源流の会」から引用)



米山月間によせて

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 米山記念奨学会委員会 カウンセラー

吉原 久司

(尾道RC)

まず初めに長年国際ロータリー米山記念奨学会の理事長としてお世話になった故小沢一彦名誉理事長が2025年2月13日にご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

国際ロータリー米山記念奨学会は、日本最初のロータリークラブ設立に貢献した実業家、米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。日本のロータリークラブ会員の寄付により外国人留学生を支援する民間団体です。1952年に東京ロータリークラブの会長古澤丈作氏の発案で「米山梅吉氏記念基金」として開始し、全国的な事業へと発展、1967年に財団法人化し、2012年には公益財団法人に移行しました。

米山梅吉翁も古澤丈作氏も日本を代表する国際的な企業を立ち上げ管理されてこられた方であり第二次世界大戦後、日本と世界各国との国際交流や相互理解の必要性を説かれ相互の懸け橋となる人材育成をめざされました。特に色々な場面で、出来るだけ多くの国々と日本との懸け橋となって下さる留学生に奨学生となってほしいと希望されています。

その為に当地区でも出来るだけ多くの国の留学生に機会を持ってもらうために2026学年度の募集から複数年の奨学生を中止し、単年度の奨学生に変更してその

分多くの留学生の方に奨学金を提供することとしました。

奨学期間を終了した元奨学生と現役奨学生により学友会が組織されています。全国に33団体、海外には10(韓国・台湾・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマー・ベトナム南)団体あります。当地区の学友会は1999年に創立され周年行事、二胡のコンサート、広島平和研修、太田川河川敷清掃活動など盛んに行っています。

現在、米山奨学会はアジアを中心に世界各国からの留学生を支援しており、事業費は2024-25年度決算で約13億1,500万円、支援した奨学生数は940人、累計24,830人(2025年7月現在)で世界134か国・地域に及ぶ民間最大の奨学事業です。当地区では27人(新規24人継続3人)、新規は中国29.6%、ネパール14.8%、ベトナム14.8%他 計12か国で、継続はイラン、ベトナム、スリランカ各1人でした。

皆様には多くの寄付を頂き感謝しております。2024-25年度の当地区での個人平均寄付額は¥14,184で全国平均の¥15,999に少し足りていません。米山記念奨学会の趣旨をよく理解していただき2025-26年においてもお一人¥16,000のご寄付をお願いしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



当地区の米山記念奨学事業について

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 米山記念奨学会委員会 委員長
廣田 昭

地区内の皆さまにおかれましては、日ごろより米山奨学事業へのご理解・ご協力・ご支援をたまわり、心より御礼を申し上げます。この度、上記タイトルにて原稿を執筆するにあたり、どのような内容にするのが良いか色々と検討し、今回は米山奨学事業の概要(目的や事業の規模感、特徴など)に触れつつ、当事業に対してよくお聞きする質問へお答えしていきたいと思います。さらに、米山奨学生の選考過程(いつどうやって選考し、選考するにあたってどのような準備をしているのか)にフォーカスしようと思います。最後までお付き合いのほどよろしく願いいたします。

まずは概要です。

■目的

将来、母国と日本との懸け橋となって、国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学すること

ここで言う「優秀」とは、(1)学業に対する熱意や優秀性だけでなく、(2)異文化理解、(3)コミュニケーションへの意欲や能力に優れている点を含みます。米山奨学生は、ロータリークラブを通じて日本の文化・習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする「国際平和の創造と維持に貢献する人」となることが期待される事となります。

★よくある質問①

米山記念奨学事業では、なぜ日本の苦学生に対して奨学金を支給しないのですか？

→ 上記目的にあるとおり、当事業ではそもそも、日本人学生ではなく留学生のみを対象としています。経済的に厳しい日本人学生を対象にした奨学金は、「あしなが育英会」や「日本学生支援機構」など他にあります。そう言った既存の国内団体がある中で、米山記念奨学会が、「世界平和を標榜する日本のロータリーだからこそできる奨学金」を追求した結果が、現在の米山記念奨学金制度なのです。ちなみに、当事業の選考過程において、留学生

の経済的な背景は評価の対象にはまったく入っていません。なので、経済的に厳しい留学生の経済面を支える奨学金ではありません。

さらに掘り下げていくと、では、なぜ留学生支援なのか？という疑問も出てきます。

→ その答えは、戦後間もない1952年、事業創設当時のロータリアンのこの思いでご理解いただけるのではないのでしょうか。「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか。」以来、民間外交として“世界に平和の種子を蒔く”という米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。むしろ、今日の世界情勢と日本の果たすべき役割を考えると、その使命はますます重要性を増しているのではないのでしょうか。留学生への支援は、まだ見ぬ未来にかけがえない平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのだと思います。

さて次に、民間最大の返還義務の無い奨学事業と言われる当事業の規模感をお伝えします。

規模感	年間採用数	約950人
	事業費	約15億円
	過去累計	約2万5千人
	出身国数	134ヶ国
2024学年度 国籍	中国	377人(41%)
	ベトナム	135人(15%)
	韓国	119人(13%)
	インドネシア	42人
	その他	253人
	合計	926人
過去累積の 国籍	中国	8,514人(35%)
	韓国	4,857人(20%)
	台湾	3,617人(15%)
	ベトナム	1,520人
	その他	5,625人
	合計	24,133人

★よくある質問②

米山奨学生の出身国が一定の国に偏っているのではないか？

→ これも本当によくお聞きする質問です。出身上位国を全体的に捉えると漠然としてしまいますので、単年度・過去累積、いずれも出身国籍トップの中国について考えてみます。ここからは私見になりますが、まず1つ目は、そもそもの母数が多い＝訪日留学生の人数が多いのだから、米山奨学生においても中国人留学生の割合が高いのは必然だろうということです。2024年度の留学生総数は336,708人、その内中国人の留学生数は123,485人(37%)であり(独立行政法人 日本学生支援機構webサイト参照)、2024学年度の米山奨学生の選考結果として、中国人の割合(41%)が、偏って多いとは言えないと考えます。

また、累積値については、第2710地区において過去の資料を紐解くと、確かに2010学年度の84%を筆頭に、当時は中国出身者の割合が軒並み50%を超えて推移していた時期があり、近年は30%程度で推移しているものの、過去の実績数が大きく影響し、累積値がさらに下がるにはあと数年必要な状況と言えます。

なお、米山奨学生の選考過程においては、各地区独自のオリジナルルールを設けることが認められており、当地区においては、

- ・同一校からの申請者が3名以下の場合、1ヶ国につき1名の学生を推薦。
- ・同一校からの申請者が4名以上の場合、1ヶ国につき最大2名までの学生を推薦。
- ・合格者全体で同一国籍の学生が占める割合は30%以下とさせていただきます。

としており、このルールを適用する限りにおいて、今後将来の選考において、同一国の出身者が3割を超える事は永遠に無い、と言えると思います。

その他の当地区オリジナルルールとして、新たに2026学年度の選考から、

- ・2026年4月に最終学年に在籍する学生を推薦。

とさせていただきます。これまでは、「なるべく最終学年に在籍する」としていましたが、近年、学部3年生や、博士課程前期の1年生など、1回の合格で2年間の支給となる学生の割合が増えてきており、これは、翌年の採用枠を減らしてしまう(=機会の喪失)事に直結するため、

1人でも多くの学生、1国でも多くの国に門戸を広げるための施策としてご理解のほどお願いいたします。

終わりに、そのような米山奨学生が、どのような過程を経て選考されているのかをご説明したいと思います。翌年4月からの新学年度に対して、1年前の4月から動き始めます。地区米山委員会では、2学年度(奨学金の支給が始まる当該学年度と、翌学年度の準備)が同時並行的に進行している、という事になります。

4月 奨学会より、各校へ翌年度の留学生状況のアンケートを配信

8月 奨学会H.P.にて指定校※を発表

※米山奨学金への応募に一般応募枠は無く、指定校からしか応募は出来ません。

8月 学内応募開始 → 学内選考

10月 各校からエントリー

11月 面接官オリエンテーション

1月 選考会

2月 合格者決定

ご覧の通り、学生たちはまず、所属大学内の学内選考を勝ち進まないと本選考へのエントリーさえもできないという2段階選抜



選考会の様子

方式です。一方、選考する我々ロータリアンも、面接官オリエンテーションを受けていない者は、例えばガバナーであっても選考会の面接官になることは出来ません。また、当地区の選考会は、可能な限り公平で公正な選考会にすべく、面接のチーム分けや複数者同時面談(グループ面談)という方法は採用していません。朝7時30分集合、夜8時前解散で、全面接官が全エントリー者(13分×約35名)の面接をする方法で行っています。



面接官オリエンテーションの様子

この度、月信への寄稿の機会をいただき、このような形で米山奨学事業についてご説明が出来たことを心より感謝申し上げ、引き続き、米山奨学事業への皆さまのご理解・ご協力・ご支援を賜ることをお願い申し上げ結びとさせていただきます。最後までお読みいただきありがとうございました。



第49回 インターアクト地区大会報告

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 インターアクト委員長
岸田 洋美

8月2日(土)・3日(日)山口県サビエル高等学校インターアクトクラブがホスト校として、地区両県から16校の教師・インターアクター含め127名、スポンサーの小野田RCを中心にロータリアン13名、来賓および講師10名、総勢150名がナチュラルグリーンパークホテルに集い、第49回インターアクト地区大会が開催されました。

大会テーマ「伝えよう 地域の魅力」を掲げて、大会初日にはインターアクターが主体となり、開会宣言、国歌、インターアクトソングの斉唱、来賓・参加クラブの紹介、大会委員長の挨拶へと進み、土肥慎二郎ガバナーよりお祝いの言葉「奉仕の精神をもって、重い荷物を持った人や道に迷った人に出会ったらすぐに手を差し伸べられるような人になっていただきたい」とお話しされました。そして、本大会がインターアクターによって運営されていることに感銘を受けておられました。

その後、小野田RC・吉田壮司会長、サビエル高等学校・小濱富美子校長から歓迎の言葉があり、閉会宣言で締めくくられました。



初日は、地域の自然・文化を直接体験するリサーチアクティビティが行われました。まずは、山口県の代表的な景勝地である秋吉台展望台まで猛暑の中、黙々と歩いて移動。途中には日本最大級のカルスト台地が広がっており、石灰岩と緑の草原が織りなすダイナミックな景観には目を見張りました。



その後、バスで宇部伊佐専用道路を通行。この道路は、株式会社UBEにより管理されており“日本一長い私道”として知られています。専用道路の途中には、全長34メートルにおよぶ「ダブルストレラー」が停められており、この巨大な輸送車両は株式会社UBEの製品や原料の輸送に使われています。現地ではトレーラーの構造や運行の仕組みについて説明が行われ、インターアクターたちは実際に運転台に乗車し、普段では味わえない貴重な体験に目を輝かせながら楽しみました。





次に、UBEのショールーム・U-Squareを見学。U-Squareでは、企業の歴史と未来志向の取り組みについて学び、宇宙空間における資源活用や材料技術への応用など、地球規模を超えた技術革新の可能性についての展示があり、インターアクターたちは熱心に耳を傾け、質問をする様子が見られました。地域から世界へ挑む企業の姿勢を学ぶ貴重な体験になりました。



視察後は、ナチュラルグリーンパークホテルに会場を移し、交流会に入りました。夕食後にはビンゴゲームが行われ、ゲームの結果に一喜一憂しながら学校や学年の枠を超えてお互いに親睦を深める姿がうかがえました。その後、インターアクターが1日目の観光の様子を動画にして上映しました。

翌日は、講師に山陽小野田市観光協会 会長 永山純一郎氏(小野田RC会員)をお招きし、「地域の魅力を伝え

よう」という演題のもと、地域資源を活用した観光と経済の関係、そして地域の未来についてお話しいただきました。地域経済がどのように観光と結びつき、地域の発展に寄与しているかを具体的な事例を交えて解説され、インターアクターたちは真剣に耳を傾けていました。



講演後の全体会では、今年5月より開催された指導者研修会の内容について広島県立広島商業高等学校(広島)、誠英高等学校(山口)から報告発表があり、その後閉会式で2日間を締めくくりました。

最後に、今大会に向けてご尽力くださいました、サビエル高等学校の小濱校長をはじめ顧問教師の皆様、小野田RC吉田会長、ロータリアンの皆様、心より感謝申し上げます。



— 我がクラブの会長さん —

広島中央RC

三宅 朗充 会長

曲がったことが大嫌い



広島中央ロータリークラブの三宅会長は、ロータリー歴11年目になられ、今年還暦を迎えられました。保険代理店(株)ロウジュウの会長を務められている一方で、広島市議会議員としても、大変ご活躍されております。そして、なんと26歳も年下の奥様と、お二人のお子様がいらっしゃいます。年齢よりも若く見えるのは、奥様のおかげでしょうか。まだまだ血気盛んでバイタリティの塊のような人です。座右の銘は「順理則裕」と言われており、深読みをすれば、曲がったことが大嫌いということだと思います。ということで、時には人とぶつかることもある方ですが、真っ直ぐな方であることは間違いございません。ご趣味のゴルフの腕前も…ドライバーの飛距離は相当飛びます。自分の信念とドライバーだけは絶対に曲げません、と言われたかは定かではございませんが、その統率力で1年間我がクラブを引っ張って頂けると思います。三宅会長はロータリアンとしての「責任」という言葉を口にされます。そして、責任を果たし続けるためには、仲間が必要だということを。[幹事/大内 総一郎]

宇部西RC

橋本 忠直 会長

誠実な姿勢で 周囲の信頼を集める



常に紳士的な立ち居振る舞いと誠実な姿勢で、周囲から厚い信頼を寄せられています。2025-26年度、宇部西ロータリークラブの会長として舵を取られています。

本年度は、「3年間の継続的目標」を明確に掲げ、その着実な実現に向けて尽力されています。クラブ運営では、会員同士の絆を大切にし、親睦を深めながら楽しく活動できる環境づくりを重視。その温かく頼もしいリーダーシップは、クラブに新たな活力をもたらしています。

会員増強目標は「純増2名」とし、実現に向けて積極的な取り組みを推進。また、継続奉仕活動として、国の名勝・宗隣寺での池ざらえ、ポリオ根絶募金、ユネスコへの協力募金、さらには社会福祉法人高領園でのもちつきなど、多様な活動を通じて、会員の参加を呼びかけています。

加えて、「マイロータリー」への会員登録や、ラーニングセンターでの学びの促進にも注力されており、学びと行動を両立する姿勢がクラブ全体の成長を支えています。

[幹事/三浦 寛司]

東城RC

佐藤 友則 会長

佐藤友則会長は快調だ！



いずれの御時にか 創立60周年余、会長・幹事複数回経験者あまたさぶらいけるクラブのなかに、いと頭脳明晰な際にあり御年48歳にして志願し初会長職に就任、殊勝にして時めきたまう会員ありけり。通信販売全盛の昨今、廃業せる書店多きなか書籍販売を生業とし、異彩を放つ書物展示に始り店内企画展、更には老若男女を問わず歓喜せしむるイベント開催せる偉才な御仁にして、衰退化著しき中山間地域に於いて卓越せる事業経営は、衆人をして刮目せしむるに足る。ただ一点疑念あるところは、この会長にして何故齢70歳の幹事を選びしか？虎をクラブに放つを危惧したるか？つらつら惟みるにさに非ず。「進歩を阻むものは若人の過ちに非ず老人の蔓延る事なり。」とかや、老熟な幹事にこの轍を踏まえぬ慈愛の御心と自覚し粉骨碎身共に職務に精励せん！

願わくはグループ12会員諸兄、とくと御笑覧あれ。

[幹事/谷 壮一郎]

防府南RC

秋本 園子 会長

老化に負けない！



我がクラブの会長さんは、社会保険労務士として日々多くの人を支えておられる専門家です。その誠実で責任感のあるお人柄は、クラブの運営にも大いに生かされ、突然のハプニングがあっても常に冷静で落ち着いた判断で私たちを導いてくださいます。決して派手さを求めず、一步一步を着実に進めていく姿勢は、メンバーに安心感を与え、「この方なら大丈夫」と自然に思わせてくださっています。また奉仕活動の場では、会長職に就かれる前からいつも率先して準備や片付けに取り組まれています。今年度は会長として、参加されるメンバーに飲み物の準備など細やかなところまで気を配っていただき私自身、気づきをいただくことが多くあります。一方で、最近「目が悪くなって書類が見にくいの」と笑いながら話されることもあり、そんな素直な一面には親近感を覚えます。堅実で頼もしいリーダーでありながら、人間味にあふれる会長さん。おかげで、クラブは穏やかで温かな空気に包まれています。これからも変わらぬ笑顔と誠実さで、私たちに勇気と安心を与えてくださることを願っています。

[幹事/高須 洋]

— 我がクラブの会長さん —

尾道RC

清水 秀樹 会長

親睦にかける情熱



清水会長の職業分類は多糖類製造。それだけ聞くと何の仕事かさっぱり分かりませんが、ご本人いわく「要はコンニャク屋です」とのこと。「明日食べても今夜食う(こんにゃく)」の鉄板ギャグで笑いを誘い、場を和ませます。何事も楽しむが信条で、常に前向きでエネルギーが豊富。隙あらば(打ち合せと称して)親睦会を開催します。その一方でプライベートは謎に包まれており、例会日以外はふらっと山陰に行ってみたり、ヘリから万博会場を見に行ってみたり、まるで風のように軽やかなフットワークを誇ります。そんな会長の本年度のクラブ方針は「信頼を高めよう。話す回数をふやそう。」。懇談と親睦を通じて、会員同士の相互理解と信頼を高めることを目指されています。

また、迷ったときや決断が必要なときの基準は、「楽しいかどうか」。周りもつられてポジティブになるから不思議です。なお、楽しんでばかりではありません。米山記念奨学会に長年尽力し、地区の委員、委員長を歴任しておられます。米山功労者としても表彰されるなど、真面目で誠実なロータリアンの一面も光る会長です。 [幹事/山内 奈保子]

庄原RC

児玉 節 会長

よき友と奉仕を



本年度、庄原ロータリークラブ会長に就任された児玉節(タカシ)さんは、私にとって長年の親友であり、最も尊敬するロータリアンです。外科医として長年、地域医療の最前線を守り続けてこられた責任感から、会長就任を幾度となく固辞されてきましたが、ついに今年、その思いを乗り越えてご就任くださいました。

「庄原子どもミュージカル」を25年もの間主宰し自ら役を務め子ども達と協演するなど、地域の未来を担う子どもたちへの情熱も深く、まさに「入って学び 出でて奉仕」を地で行く、地域にとって、また我々ロータリークラブにとってもかけがえのない存在です。またクラブ活動では奉仕プロジェクト部門の各委員長を務められ、米山奨学生カウンセラーをお引き受け頂くなどその温厚な人柄と確かな信念は多くの会員の支えです。「好きになろう庄原ロータリークラブ」を掲げられた今期、実りある一年を共に築いていけると確信しております。

[幹事/住田 則雄]

広島安芸RC

水野 昌典 会長

時代に合ったロータリアン



本年度広島安芸ロータリークラブを率いるのは、水野昌典会長です。職業は司法書士。日頃は法務の専門家として堅実なお仕事をされていますが、クラブではいつも笑顔で、誰とでも気さくに語り合える親しみやすさが魅力です。まだ40代という若さと柔らかなリーダーシップで、クラブに新しい風を吹き込んでくれています。

会長テーマは「ビルド!ビルド!ビルド!」。人との絆を“築き”、信頼を“築き”、そしてクラブの未来を“築く”。水野会長らしく、とても解かりやすい言葉でありながら、そんな強い思いが込められています。そしてその積み重ねの先にあるのが、「会員増強」です。会員一人ひとりが水野会長のもとで、仲間を迎え入れ、共に未来を創る、そんな流れを自然に生み出してくれるはずです。

形式にとらわれず柔軟に人と関わり、楽しさと意義を両立させるその人柄は、私たちクラブの雰囲気を象徴するものかもしれません。温かさ、開かれた空気、そして前へ進む力。水野会長のもとで迎える一年、仲間を増やし、楽しみを増やし、可能性を増やす一年となるに違いありません。

[幹事/小林 雄]

柳井西RC

弘田 裕子 会長

やさしさと芯を持つ西の華



弘田会長は、チャームングで柔らかな雰囲気を持つ素敵な女性です。その穏やかな笑顔と包容力は、社員の方々はじめ多くの方に安心感と信頼を与え、自然と人が集まる温かい空気を生み出しています。誰もが気軽に声をかけられる存在でありながら、冷静な判断力と責任感を兼ね備え、難しい局面でも的確な対応をされる頼れるリーダーです。

魅力は、優しさだけではなく、時にはビシッと本質を突く意見を述べ、周囲に気づきと刺激を与える存在でもあります。その言葉には思いやりと誠実さが込められており、聞く人の心に深く響きます。柔らかさの中に芯があり、ブレない姿勢は多くの人に尊敬と共感を引き起こします。

また、ロータリークラブの活動においても、地域社会への貢献を大切にされており、会員同士の絆を深めながら、前向きで活気あるクラブ運営を実現されています。そのリーダーシップは、周囲を巻き込みながら自然と人を動かす力を持ち、クラブの雰囲気を明るく、風通しの良いものになっています。

まさに「優しさと芯の人」。人を惹きつける魅力と、組織を導く力を併せ持つ、地域にとってもかけがえのない存在です。

[幹事/重富 貴保]

— 我がクラブの会長さん —

三次中央RC

大井 睦子 会長

温かな指針で導く



本年度、三次中央ロータリークラブの舵を取るのには、大井睦子会長です。司法書士として地域の人々の権利と安心を守るお仕事に携わり、その誠実で冷静な判断力はクラブ運営にも生かされています。穏やかな笑顔と温和な人柄で会員を包み込みながらも、必要な場面ではきりっとした姿勢で方向性を示されます。また、本年度クラブスローガンを「Love and Peace」と定め、次の方針を掲げています。まず、今ここにある平和を享受できていることに心から感謝すること。例会はもちろん、それ以外のクラブ行事にも積極的に参加し、ロータリーを楽しむこと。新しい仲間を愛をもって迎え入れ、寛容の心で今いる仲間を認め合うこと。そして、地域社会においても積極的に良いことを行っていかうというものです。そしてRI会長メッセージ「UNITE FOR GOOD — よいことのために手を取りあおう」の思いを胸に、会員一人ひとりが互いを尊重し、学び合いながら活動できる雰囲気を築いておられます。今年度もクラブが一丸となり、地域と世界へ奉仕の輪を広げてまいります。

[幹事/重信 優]

鞆の浦RC

高階 百壽 会長

仏縁を紡ぐ



2025-26年度の鞆の浦ロータリークラブ会長を務めます高階百壽さんは、地元・鞆の浦で浄土真宗本願寺派南禅坊の住職として地域に根ざした活動を続けてこられた方です。

お寺という地域の拠点で、人生の節目に寄り添いながら、人と人とのつながりを大切にされてきました。

ロータリーの奉仕の精神にも深く共感されており、「和をもって人とつながり、地域に恩返しを」という思いを胸に、会長職に臨まれています。

穏やかな人柄と柔らかな語り口の中に、確かな信念を持つ方で、会員からの信頼も厚く、誰もが相談しやすい存在です。

今期は「地域に根ざし、心を届けるロータリークラブ」を目指し、住職としての経験を活かしながら、温もりあるクラブ運営に取り組まれています。



[幹事/渡海 徹]

下関東RC

安田 昌壮 会長

誠実で温和な方です



会長は、ライフという会社の経営者です。瓦施工はじめ、外装関係の施工を請け負われる会社です。多くの職人さんをまとめ、日々現場を回っておられます。

ロータリー歴は17年で、委員長6回、幹事1回引き受けられており、RCの事も熟知され、気遣いも優れた方です。また面倒見も良く、ゴルフ同好会の会長も長年続けてこられていました。

わたしがスリープ状態(当時副SAA)が続いていたころ、「ニコニコの発表をずっと一人で続けているから、たまには、出てきてあげたら」と、とても優しく引き戻して頂いたのも会長でした。いろいろな方を目立たぬ位置から、支えて来られた方です。

この度、表舞台で会員の先頭に立って進められるとの事。幹事として、近くで手伝い、学ばせていただくことをとても楽しみにしております。

[幹事/松村 和幸]

萩東RC

永井 一男 会長

笑顔の素敵な柔道家



私たちの会長は、現在は冠婚葬祭業を営んでおられますが、観光ホテル、遊技場などの経営も経験してこられた多彩な業界のスペシャリストであり、実行力、行動力のある会長です。ロータリー活動、本業とどちらかに片寄りすぎることなく、どちらも程よくこなす絶妙なバランス感覚を持った方です。

温厚な人柄で気取らず若い会員でも誰に対しても丁寧な言葉遣いで接することができる素晴らしい人格者です。

柔道家でもあり、鍛えて強い体と心を善い行いに使い、社会に貢献するという自他共栄の精神はロータリークラブの理念と通ずるものがあるのではないかと思います。優しく、強く、笑顔の素敵な会長は会員皆から愛されています。



[幹事/大崎 正晴]

— 我がクラブの会長さん —

江田島RC

角 秀司 会長

ロータリーを知り、楽しむ



我が江田島ロータリークラブの角(かど)会長は、「世界の試作工場になるモノづくり集団」をコンセプトに、精密機械加工による金属部品製作事業を営まれています。その一方で、地域活性化の活動にも大変注力されています。クラブ入会10年目で会長職を受けられました。

2025-26年度がスタートし、角会長はご自身の判断力、実行力を発揮され、従来の運営方法にとらわれない新しいクラブ運営をされています。会長の時間においては、会長が毎回テーマを決め、自身がファシリテーターとなり、ディスカッション形式で例会に出席した会員全員とロータリーについて語り合います。角会長はロータリーの歴史や使命を理解し、その価値を楽しむことを大切にします。会員数17名の小規模クラブならではの取組みであり、会員の皆さんは発言に緊張感を持ちつつも、例会出席をととても楽しみにされています。

我がクラブは、長期目標である、「団結力とフェロウシップのあるクラブ～地域に根差した奉仕活動と尊敬されるクラブ～」を目指し、角会長のもと、仲間と共に楽しみながら地域社会に貢献し、思いやりと奉仕の心をもって前進します。

[幹事/出木谷 秀雄]

広島東南RC

久保 和浩 会長

理系なロマンチスト



私たち広島東南ロータリークラブの会長 久保和浩さんは『あおぞら薬局』で薬剤師をされており、薬局を経営されています。

日々新しい薬が開発され、常に進化していく業界。久保会長も常に新しいことにチャレンジされる方で『やらないよりやって失敗の方が良い』という教えです。

ただ、そこは理系思考により、先の先のその先まで考えられた内容により、いつもうまく乗り越えられるものです。

会社名から分かる通り、さわやかなブルーがお好きで今回の手帳や合本はドジャースブルーとしました。

そんな久保会長もロマンチストな一面があり、今回の会長方針は会員それぞれを煌めく星々に例えられ役割は星座に例えて、会員みんなをはっ！とさせました。

新しいことに挑戦することはたくさんの困難もありますが、会員の皆さんには迷惑を掛けない！という強い思いから厳しい指導もあります。ですが優しい笑顔と共にいろいろな考え方と細やかな気配りを教えていただき、日々勉強させて頂いております。

何事も楽しくやろう！という言葉と共に今年1年クラブを引っ張ってくれる会長さんです。 [幹事/守下 康弘]

大竹RC

福田 祥司 会長

明るく気配り上手な 楽しさづくり名人



我々が太竹ロータリークラブの会長は、2015年4月に入会されて以来10年にわたり、複数回の会長職を務められた大変人望の厚い方です。地域においても警察署協議会会長など多くの要職を歴任され、多方面でご活躍されています。

本業は空調配管工事・プラント設備工事業を営まれており、特に化学工業分野における卓越した仕事ぶりは高く評価されています。

会長という役職にとらわれずこれまでも常に周囲に気を配り、会員間の親睦が深まり、クラブ運営が楽しくなるよう心を砕いていらっしゃいます。日々のコミュニケーションはもちろんのこと、副会長・プログラム委員長時代には、例会時の昼食にこれまでになかったメニューや新規のお店の手配をされるなど、会員を楽しませるためのサービス精神に溢れています。

誠実で明るい笑顔で接する会長は、まさに我がクラブの太陽のような存在です。 [幹事/中西 聡和]

因島RC

幡地 康永 会長

ワクワクの真ん中で



因島ロータリークラブ2025年度会長の幡地康永さんは、見た目は穏やか、中身は情熱のかたまり。誰に対しても分け隔てなく接する姿勢と、時折見せる冗談混じりのトークで、例会場はいつも和やかな雰囲気包まれています。その柔らかさの奥には、物事をしっかり見つめるまなざしと、どんなことも「楽しもう」とする前向きな力があります。

今期は「ワクワクするロータリー」を掲げ、会員が「行きたくなくなる例会」「また話したくなる仲間づくり」を目指して奮闘中。子ども園との花植え活動では、土まみれになりながらも子どもたちと笑顔で寄り添い、地域の未来にも根を張っています。

幡地会長の魅力は、決して押しつけず、でもちゃんと伝わる「人を巻き込む力」。「楽しくなきゃロータリーじゃない！」が口ぐせのこの一年、クラブはきっと、花が咲いたように明るくなるはず。 [幹事/村上 力]

— 我がクラブの会長さん —

広島西南RC

宮崎 真 会長

やってみましょう！



私たちの第39代目の宮崎真会長は、広島西南RCへ2013-14年度に入会されました。理事役員も入会10年前後の若手を中心に、これまであまり注目してこなかった問題にも目を向け、40周年に向けての「リセットの年」とし、当クラブを牽引されています。被爆80周年という大きな節目で、平和について一人ひとりが考える「平和例会」や、今年度で創立39年を迎え、ここまで歩んでこられた諸先輩方々への感謝を形にする「慶寿例会」、親睦をより深めるための「夜間例会の充実」など、新たな企画や仕組みをアイデア出しされ、「まずは、やってみましょう！」と会員の皆さんの協力でスタートしました。さまざまな新しい取組の成果もあり、入会3年未満の会員メンバーからも、「会の雰囲気がよくなった」「例会参加が楽しくなった…」などの声も多数上がっています。今こそ見つめ直し、40年、50年に向けて、『広島西南ロータリークラブだからできること』が形になっていく予感がします。

〔幹事／田中 朋博〕

広島北RC

藤田 省蔵 会長

優しさで包み込むリーダー



私たちのクラブの会長は、工場の中で使われるものは何でも扱う地場密着型の機械工具商社の社長さんです。言葉数は多くはありませんが、皆を見守り誰にでも好かれる優しいお父さんという言葉がピッタリな71歳です。2013年に広島北ロータリークラブに入会され、以降副幹事や副会長などさまざまな役職を経験されております。

流川幼稚園のご出身という生粋の流川人で、修道高校から慶應義塾大学と広島では王道といえる経歴をお持ちです。青年会議所時代から流川で華麗なる泳ぎ込みをされてきましたが、2019年に大病に見舞われました。復帰後は門限を設けられるなどスマートさに磨きがかかっています。

本年度は「団結し、楽しんで行動しよう」という運営方針を掲げられ、クラブの理念である「明るく調和のとれた居心地の良い楽しいクラブ」を実践すべく執行部、理事会はもちろんのこと全体を引っ張ってってくれています。決して大きな声を出すわけでもなく、圧で理解させるということもなく、暖かく包み込みながら皆をリードしていく姿は今の時代のリーダー像としてとても勉強になると感じています。

〔幹事／高見 仁〕

広島城南RC

二上 真也 会長

誠実と情熱の会長



この度、広島城南ロータリークラブの会長にご就任された二上 真也 会長は、総合建設業を営む経営者として、地域社会の基盤を支え、発展に大きく貢献されています。当クラブには30歳で入会され、以来18年間、ロータリー活動に真摯に取り組んでこられました。現在48歳という若さでリーダーの任に就かれたことは、我々会員にとっても誇りです。

今年度のクラブスローガンとして、「みんな一つの心で、ともに歩むロータリー」を掲げられました。この力強いスローガンのもと、会長は明確な運営目標を示されています。第一に、クラブの魅力を高め、会員増強を積極的に行うこと。第二に、クラブ運営体制を見直し、より効率的で活発な活動ができるよう改善を図ること。第三に、奉仕事業を活動的に計画・実施し、地域社会への貢献をより一層深めること。そして第四に、インターシティミーティングをクラブ全員で協力して成功させるという、強い決意を表明されました。

ご多忙な日々の中でも、遠く離れた大阪と静岡でそれぞれの道を歩む娘さんと息子さん、そして奥様を大切にされるご家族思いの温かいお人柄は、多くの会員から慕われています。その誠実さとロータリーに対する揺るぎない情熱で、会員全員が心一つに、より一層充実した活動ができる一年となることを確信しております。

〔幹事／高藤 孝一〕

福山西RC

河村 直孝 会長

気さくで情熱的な会長と共に



我がクラブの会長は地元の福山市と府中市で機械工具の販売をされているカワムラ機工の社長です。「プラスハート」を合言葉に地域のものづくり企業に愛されて、着実に会社を発展させてこられ、来年で創業80年の老舗企業さんです。

河村会長はとても気さくで、話しやすく、誰にでも愛される方ですし、とても情熱を持った人柄です。

地域の中小企業を元気にするべく、広島県中小企業家同友会では福山支部長にも抜擢された人格者でもあります。そんな河村会長ですが仕事を離れるととても活動的でゴルフや野球などのスポーツも積極的にされており、若い会員にまじってハツラツとプレーをされるような、皆さんから愛される方です。

今年度のクラブの奉仕事業の中では青少年奉仕に非常に情熱を持っておられ、次世代の育成にとっても関心を持ち実行されています。

また、国際大会への参加にも意欲的で今年度は我がクラブから20名参加を目標に掲げておられます。

私も幹事として会長と共に20名の仲間と参加して、河村会長の魅力をもっと感じて一緒にクラブを盛り上げていきたいと思っています。

〔幹事／小林 崇〕

— 我がクラブの会長さん —

西条RC

森 哲也 会長

心に響く奉仕



創立62年目を迎える西条ロータリークラブの第62代会長には、音楽家・指揮者としてご活躍の森哲也会長が就任いたしました。

今年度のクラブテーマは「心に響く」。その言葉どおり、例会・委員会・懇親会のすべてが「参加してよかった」と感じられる場となるよう、森会長ならではの感性が随所に生かされています。

たとえば例会中の会食では、毎回異なるクラシック音楽が静かに流れ、自然と会話が生まれる温かな空間に。着席や話題の工夫もあり、世代や職業を越えた心の通う交流が育まれています。伝統と新しい風が心地よく響き合うクラブとして、すでに新たなハーモニーが生まれています。

さらに森会長は、地域社会との絆を深める活動にも積極的に取り組み、その姿勢が会員一人ひとりの奉仕の心を力強く後押しし、未来へ続く希望を育んでいます。その歩みは、まるでオーケストラが奏でる調べのように、多様な個性を美しく響き合わせています。そして私を含め会員一同もまた、その調べをより豊かにするため、心を合わせて会長をお支えてまいります。

[幹事/村上 和秀]

東広島RC

佐々田 朋子 会長

笑顔と感謝で導く！



東広島ロータリークラブ会長の佐々田さんは、常に穏やかな笑顔で、周囲に安心と信頼を与える存在です。長年にわたり看護師として医療の現場に従事し、多くの人々の健康と命に、真摯に寄り添ってこられました。その経験を活かし、現在は整体院を開業。心と体の両面から人々の健康を支える活動を続けておられます。また、ベビーマッサージ講座を15年以上されています。講座の中でマッサージ以外にママ達の相談に乗ったりと地域のママ、子ども達にとって心強い存在です。

クラブにおいても、常に「自ら率先して動く」を実践し、新たな試みにも積極的に挑戦。従来の枠にとらわれない柔軟な発想で、会員の士気を高めるリーダーシップを発揮しています。

どんな時も感謝を忘れず、会員一人ひとりを大切にするその人柄は、クラブ全体に温かな空気を生み出しています。佐々田さんの人を巻き込む力、行動力と笑顔は、クラブの未来に明るい希望をもたらしています。

東広島21RC

今谷 哲也 会長

どこを切ってもTHE男前！



本年度、私たちのBOSSを務めますのは、多彩な魅力に溢れる今谷哲也会長です。地域医療に深く貢献する歯科医として、その専門知識と温かいお人柄で多くの患者さんから厚い信頼を得ていらっしゃいます。

また、医療分野にとどまらず、障害者支援事業所「松賀苑」や、印刷・デザインを手がける「今谷コミュニケーションズ」の経営者としてもその手腕を発揮されています。その多角的な視点と卓越した行動力は、私たちのクラブ活動に新たな息吹を吹き込んでくださるに違いありません。

その洗練されたルックスはもちろんのこと、会長の魅力は内面にも及びます。物事の本質を瞬時に見抜き、歯に衣着せぬ明快な物言いで的確な判断を下す姿は、まさに「男前」そのものです。

精神と肉体を鍛え上げる空手の有段者である一面も持ち合わせており、そのストイックさもまた会長の魅力。さらに、車をこよなく愛する趣味人でもあり、その情熱は尽きることがありません。

まさに理想の「オトナのオトコ」のカッコよさを体現されている今谷会長のリーダーシップのもと、スローガンである「クラブ一丸」を掲げ、今年度のロータリー活動が地域社会への貢献を深め、会員間の絆を一層強固なものにすることを確信しております。

[幹事/石竹 一哉]





メーキャップのすめ

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 ガバナー
土肥 慎二郎

この原稿を書いている時点(8月31日)で、ガバナーとして27のクラブを訪問しました。

全てのクラブにおいて温かく迎えてくださり、感謝を申し上げます。

ところで皆さん、メーキャップしてますか？

メーキャップは例会欠席の補填という考えもありますが、と同時に、世界中すべてのクラブを訪問できる、というロータリアンの権利の一つです。

私の訪問したクラブはすべてが異なり、いろいろな工夫がなされていました。

ピアノの生演奏、良いですね。また、皆さんのクラブにソングリーダーはおられますか？

点鐘をしないクラブは無いものの、その前から食事をとって時間に余裕を持たせるクラブ、点鐘前後に握手をするクラブ、体操をするクラブ、いろいろです。

推奨ロータリークラブ細則、第4条 第1節に「会長はクラブの会合と理事会の議長を務める」とありますが、

ちゃんと会長が司会進行をしているクラブがありました。また、司会者がいなくてもスムーズに例会が進行するクラブもありました。

ニコニコ箱の発表の仕方もいろいろあるのです。

自分で申告して発表するのもいいし、SAAがユーモアたっぷりに紹介するのも楽しいです。

共通して言えることは、どのクラブものんびり、和気あいあい、それでいてお互いを尊重している雰囲気を感ずることが出来ました。

その上、通常ならばガバナーの堅い話ではなく、興味深い卓話を聞くことが出来るのです。

やっぱりロータリーの例会は楽しい！！

皆さんもメーキャップしてみてもどうですか？

他のクラブを覗いてみるのも、たまにはいいですよ。

Enjoy Rotary !



国際ロータリー第2710地区 — 2025-26年度 新会員紹介 —



中村 行裕
下関東RC
2025年9月4日
電気工事業



吉津 有貴
美祿RC
2025年7月8日
林業



倉床 潤一郎
防府北RC
2025年9月8日
損害保険



森山 真彦
山口RC
2025年8月27日
全国放送



佐々木 伸典
周南西RC
2025年9月9日
地方銀行



大林 昭弘
徳山RC
2025年7月10日
業務請負業



中林 海人
岩国RC
2025年9月4日
建設業【建築】



益本 重徳
岩国中央RC
2025年8月1日
建築士



鈴森 康弘
広島RC
2025年8月5日
情報処理



柳川 征裕
広島RC
2025年8月19日
オフィス家具販売



吉田 真也
広島RC
2025年8月19日
移動通信



久米 秀治
広島安芸RC
2025年8月26日
貨物自動車輸送



美農 真里
広島安佐RC
2025年8月21日
福祉厚生施設



濱野 滝衣
広島東RC
2025年8月6日
弁護士



山西 淳也
広島東RC
2025年8月6日
商社



平岡 良介
広島東RC
2025年8月27日
金型設計・製作



飯田 稔督
広島東RC
2025年8月27日
鉄道輸送



水野 直人
広島東RC
2025年8月27日
ガス供給



梅田 正昭
広島東RC
2025年8月27日
保険代理店



松宮 佳佑
広島中央RC
2025年8月4日
証券業



赤羽 隆太郎
広島中央RC
2025年8月4日
税理士



宮地 隆浩
因島RC
2025年9月4日
自動車電装品販売業



和木 俊二
三原RC
2025年8月26日
信用金庫



堀 友妃
福山西RC
2025年8月19日
映像クリエイター

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度会員増減・出席率(2025年8月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					
			年度初7/1	当月		本年度		
				末日	内女性	入会	退会	
1	長門	81.11	25	26	3	1	0	
	下関	74.71	43	44	2	1	0	
	下関中央	71.82	38	39	7	1	0	
	下関東	73.53	65	65	6	0	0	
	下関北	70.76	58	58	4	0	0	
	下関西	79.55	33	33	0	0	0	
	計	75.25	262	265	22	3	0	
2	萩	75.51	42	43	3	1	0	
	萩東	83.67	25	25	1	0	0	
	美祿	65.84	18	20	1	2	0	
	小野田	85.29	31	36	4	5	0	
	宇部	97.14	38	38	4	0	0	
	宇部東	75.01	9	9	1	0	0	
	宇部西	86.52	49	50	6	1	0	
	計	81.28	212	221	20	9	0	
3	防府	87.64	57	57	2	1	1	
	防府北	77.78	22	22	3	0	0	
	防府南	82.57	44	45	9	1	0	
	山口	80.32	44	48	4	4	0	
	山口県央	85.74	24	25	2	1	0	
	山口南	97.07	42	42	7	0	0	
	計	85.19	233	239	27	7	1	
4	光	84.44	52	53	4	1	0	
	周南西	84.13	57	56	6	0	1	
	徳山	97.67	40	41	2	1	0	
	徳山セントラル	75.84	20	20	2	0	0	
	徳山東	100.00	42	42	2	0	0	
	計	88.42	211	212	16	2	1	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					
			年度初7/1	当月		本年度		
				末日	内女性	入会	退会	
5	岩国	74.33	66	67	1	1	0	
	岩国中央	85.16	38	39	6	1	0	
	岩国西	88.29	64	66	6	2	0	
	柳井	89.74	25	25	1	0	0	
	柳井西	100.00	26	26	6	0	0	
	計	87.50	219	223	20	4	0	
6	広島	99.55	123	130	3	8	1	
	広島安芸	99.50	33	35	4	2	0	
	広島安佐	84.00	13	15	3	2	0	
	広島東	96.14	108	121	11	14	1	
	広島北	92.01	102	101	0	0	1	
	広島陵北	98.49	44	44	2	1	1	
	大竹	84.54	24	25	0	1	0	
	計	93.46	447	471	23	28	4	
7	広島中央	100.00	62	63	5	2	1	
	広島廿日市	81.25	24	23	3	0	1	
	広島城南	100.00	40	40	4	0	0	
	広島南	100.00	86	86	0	0	0	
	広島東南	100.00	84	84	12	1	1	
	広島西南	100.00	78	79	5	1	0	
	広島西	99.61	92	93	7	1	0	
	計	97.27	466	468	36	5	3	
8	江田島	92.67	17	17	0	0	0	
	東広島	82.34	23	25	3	2	0	
	東広島21	87.50	21	21	4	0	0	
	呉	85.33	71	71	5	0	0	
	呉東	77.64	34	35	3	1	0	
	呉南	90.73	43	43	1	0	0	
	西条	99.78	44	46	1	2	0	
	計	88.75	253	258	17	5	0	

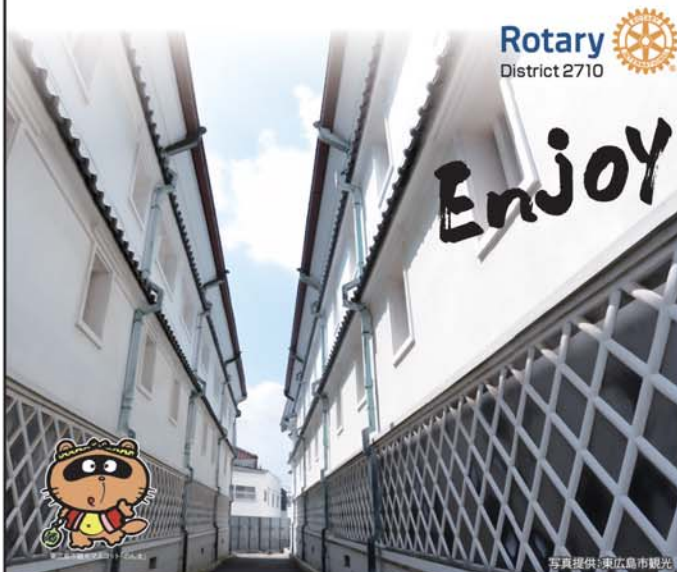
グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					
			年度初7/1	当月		本年度		
				末日	内女性	入会	退会	
9	広島空港	80.62	28	28	4	0	0	
	因島	91.92	14	15	0	3	2	
	三原	92.54	49	50	1	1	0	
	尾道	73.38	77	77	2	0	0	
	尾道東	87.63	47	48	7	2	1	
	計	85.22	215	218	14	6	3	
10	府中	84.08	14	14	2	0	0	
	福山	92.47	85	87	3	2	0	
	福山東	81.21	32	37	2	5	0	
	福山丸之内	91.36	22	22	1	0	0	
	鞆の浦	66.41	15	15	0	0	0	
	福山REC2710*	100.00	7	7	1	0	0	
	計	85.92	175	182	9	7	0	
11	福山赤坂	78.17	52	52	4	0	0	
	福山北	89.44	32	30	2	0	2	
	福山南	70.11	56	58	4	2	0	
	福山西	88.67	40	41	6	2	1	
	松永	95.65	54	54	7	0	0	
	計	84.41	234	235	23	4	3	
12	吉舎	95.83	9	9	0	0	0	
	三次	73.50	40	41	1	1	0	
	三次中央	92.96	33	33	5	0	0	
	庄原	92.66	26	26	2	0	0	
	東城	92.85	14	14	1	0	0	
	計	89.76	122	123	9	1	0	
第2710地区計		86.39	3049	3115	236	81	15	

※正式名称「福山ロータリー・クラブ2710」

2025-26年度 国際ロータリー第2710地区

地区大会in東広島

2025.10/17 [金]・18 [土]・19 [日]



2025-26年度 国際ロータリー第2710地区
地区大会 大会事務局

〒739-0042
東広島市西条町西条東1283-2
(土肥整形外科病院4F)

地区大会 前日 10/17 [金] ■広島カンツリー倶楽部西条コース
◎記念ゴルフ大会

地区大会 1日目 10/18 [土] ■ホテルグランヴィア広島
◎大会委員会 ◎会長・幹事会
◎基調講演: 松本 祐二 氏 RID2690PG
◎RI会長代理歓迎晩餐会

地区大会 2日目 10/19 [日] ■大会/東広島芸術文化ホールくらら
◎懇親会/西条駅前にぎわい広場
◎本会議
◎記念講演: 辰巳 琢郎 氏

[プロフィール]
辰巳琢郎: 俳優・日本のワインを愛する会会長
京都大学卒業、知性・品格・遊び心の三拍子揃った俳優として活躍中。
自ら企画した『辰巳琢郎の葡萄酒浪漫』(BSテレ東)『辰巳琢郎の家物語』(BS朝日)が好評放映中。
観光庁アドバイザー。近畿大学客員教授。囲碁大使。



国際ロータリー第2710地区
2025-26年度 ガバナー

土肥 慎二郎

ホストクラブ 東広島21ロータリークラブ

コ・ホストクラブ ■西条ロータリークラブ ■東広島ロータリークラブ

TEL082-437-3933 FAX082-437-3934
e-mail: higashihiroshima2710@clock.ocn.ne.jp



国際ロータリー第2710地区 事務局
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
E-mail: info@ri2710.com URL: https://ri2710.com/